

## メッセージアウトライン

### ヤコブの手紙 1:16~18 「被造物の初穂」

[16]「愛する兄弟たち。だまされないようにしなさい」

このことばはすぐ前の 13~15 節にあったように「誘惑にあったとき、神によって誘惑された」

と思いきまないと注意である。神は人を誘惑されたり、わざわいをもたらされるお方ではない。もし神をそのように誤って理解してしまうならば、当然そこから誤った人間理解と誤った行動が出て来る。それゆえ私たちは正しい行動をするためにも誤った考えに陥らないように気をつけなければならない。

[17]「すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移りゆく影はありません」

ここでは、すべての良い贈り物、完全な賜物は「上から」つまり「神(父)」から来るということが教えられている。「贈り物」も「賜物」も同義語。信仰者はイエス・キリストにあって神を父と呼ぶことのできる幸いが与えられている。神から贈られる完全なものとしてヤコブは「光」をあげる。光も神によって造られたものである。身近な例として太陽の光は暗やみを照らし、熱を与え、エネルギーを与え、全生物の活動をうながし、生命の存在を可能とする。このように太陽があまりにもありがたいので太陽を拝む人がいるが、それは間違いであり、偶像礼拝となる。すべての良いものはこの太陽を造られたお方。真の神から来るのであり、真に礼拝すべきはこのお方なのである。光のようにすばらしいものを造り、私たちに贈り物として与えてくださっている神は、当然ながら、それよりもはるかにすばらしいお方である。太陽の光ならば朝昼夕と変化し、また四季によっても変わり、そして、その光に照らされた物の地上に映る影も移動してゆく。しかし、神には移り変わりや、移りゆく影はない。

神は年を取って老人になるとか、昔、祖先と結ばれた契約を今は変更されるとかいうことはない。それゆえ、神の御子イエス・キリストによってなされた罪の贖いは、昔も今も将来も信じる者には全く変わることなく適用されるのであり、また神は気が変わって人間を誘惑されるようになったのだということもできない。→ウエストミンスター信仰告白 5：4 参照

神が下さるものは誘惑ではなく、すべて良い完全なものである。

[18]「父はみこころのままに、真理のことばをもって私たちをお生みになりました。私たちを、いわば被造物の初穂にするためなのです」

私たち人間の側から見れば、様々なきっかけで福音を知り、イエス・キリストを救い主と信じ、クリスチャンとなったと思うが、しかし、神の側では私たちを「生んだ」と言われる。すなわち、神によって霊的に新しい者、

神の子とされたということである。→I ペテロ 1:3,23

しかし、何ゆえに神は私たちを選ばれたのか。それはここに書かれているように「みこころのままに」なのである。→エペソ 1:4~5 金銭を払って受け取る物は贈り物や賜物ではない。しかし、何の良きところもなく、罪のうちに死んで

いた者を一方的に選び、救ってくださるならばそれは恵みであり贈り物である。しかもその起源はこの世界が創造されるよりもはるかに古い永遠の昔にさかのぼるのである。これは驚くべきことである。

詩篇の作者もこのことを次のように表現している。「あなたの指のわざである天を見、あなたが整えられた月や星を見ますのに、人とは、何者なのでしょう。あなたがこれを心に留められるとは。人の子とは、何者なのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは」詩篇 8:3~4

では神はどのような手段によって私たちをお生みになったのか。それは「真理のことば」によってである。真理のことばとは福音のことである。→エペソ 1:13 神の御子イエス・キリストが私たちの罪のために身代わりとなり、十字架にかかれて死んでくださった。そして三日目に死を打ち破って復活された。それゆえこのイエスを救い主と信じ受け入れる者はすべての罪を赦され、神の子とされ、永遠のいのちが与えられ、復活の希望が与えられる。これが福音である。すべてのクリスチャンはこの福音によって生まれたのである。

私たちは自分の力や賢さや功績ではなく、この福音によって救われた者なのである。

そしてそのようにして神が私たちをお生みになった目的は「いわば被造物の初穂にするため」であった。旧約の律法の定めによれば収穫された麦の初穂は神にささげられるものであった。

→出 34:26 それは神への感謝に満ちた供え物となる。またエレミヤ 2:3によれば、「イスラエルは主の聖なるもの、その収穫の初穂であった」と言われているようにキリスト者は後に続くすべてのキリスト者、神の民、新しいイスラエルの全体とともに神のものとされた初穂なのである。

福音の真実なことばによりイエス・キリストによって罪贖われ、神への初穂とされた者はそれにふさわしく神を心から賛美し、礼拝し、その一生をもって神の栄光をあらわす者となっていくことが大切である。